

プロクター&ギャンブル(PG)

【セクター】 生活必需品

【市場】 NYSE

【企業概要】

世界最大の家庭用品・日用品の会社です。部門ごとの主要ブランドは、ファブリック&ホームケア：「アリエール」「ボールド」「ダウニー」「Tide」「ファブリーズ」など、ベビーケア&ファミリーケア：「パンパース」「Tampax」「Bounty」など、ビューティ：「バンテーン」「SK-II」「h&s」など、グルーミング：「Braun」「Gillette」「Venus」など、ヘルスケア：「Oral-B」「Crest」「Vicks」など、です。海外売上が56%を占めます（18年6月期）。

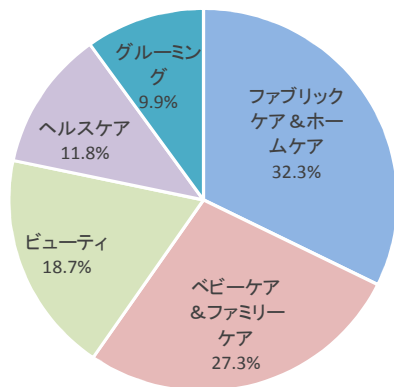
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
16年6月期	65,299	10,452	3.76	2.66	20.7	17.9	45.6
17年6月期	65,058	10,415	3.89	2.70	20.9	19.2	46.3
18年6月期	66,832	10,812	4.17	2.79	20.2	20.8	44.7

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

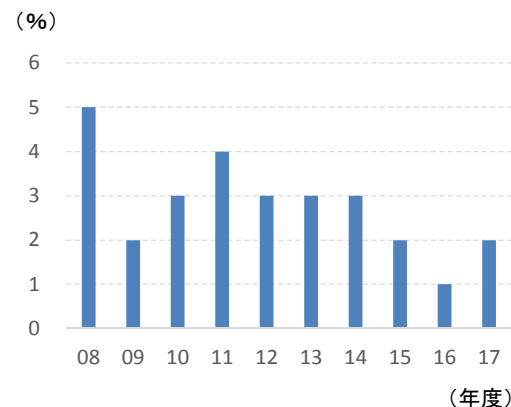
【主要指標】

図表1 部門別売上構成比（18年6月期）



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 売上のオーガニック成長率

注：オーガニック成長率は、事業買収・売却の影響を除く成長率です。
(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

同社の営業利益は13年6月期から17年6月期にかけて150億ドル前後で停滞、同業のユニリーバの業績動向をアンダーパフォーム、株価も70～90ドルのレンジでの動きとなっています。18年4-6月期決算リリースでCEOは、「事業運営の費用、消費者の需要、競合他社の状況が流動的で、難しい事業環境にある。」「これらのチャレンジに対応するため、組織と企業文化の変化を加速する意向だ。」としています。同社はグローバルに事業基盤を築いていますが、現在の事業環境は厳しいようで、業績の動向は注意して見ていく必要がありそうです。

【見通し・注目点】

19年6月期の会社ガイダンスは、オーガニックの売上成長が前年比2～3%増、為替や事業買収・売却の影響が2%ポイントのマイナスとなり、報告ベースの売上は前年比0～1%増、コアEPSは18年6月期実績の4.22ドルに対して3～8%増を見込んでいます。原材料費と為替の影響を考慮すると、上半期に比べて下半期は改善する見通しとしています。また、同社は現在パンパースなど主要ブランドのいくつかで値上げを打ち出していることも報告しています。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 18/8/28)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。